

関西社会科の初志をつらぬく会～個を育てる教師のつどい～ 2018年 研究集会

1. 研究テーマ

『子どもが育つ授業をもとめて』～なぜ子ども一人ひとりを受けとめようとするのか～

私たちは教師として子どもを育てようとしています。あなたが教師になろうとしたきっかけは何でしたか。どの子どもたちにも、生き生きと学校生活を送らせてやりたいというような思いが高まって、教師生活をスタートされたことでしょうか。日々の授業を充実させることは教師としての営みの大きな部分を占めています。「子どもを育てる授業」ではなく「子どもが育つ授業」はすべての教師の目標と言えるのではないのでしょうか。私たちの会では、子どもが育つ授業を進めようとするならば「子ども一人ひとりを受けとめる」ことが大切と考えています。授業のどの場面においてどうしたらいいのかを具体的に知ることは容易ではありません。教師自身が広い視野に立とうともその子どもの捉えは千差万別なのですから。

「子どもが育つ授業」と「子ども一人ひとりを受けとめる」ということを繋げるために、詳細な授業記録（抽出児・カルテ・座席表を含む）を活用しています。その実践から、教師と子ども、子ども同士の単なる出来事・様子だけでなく、時にはその願いや葛藤までもが読み取れるのです。こうしたことから本当に大切にしていきたいことに気付くことは、煩雑になりがちな教育活動の中で、次時の授業での教師の立ち位置を明らかにし、子ども自身の取り組みを前進させると考えます。

ところが、今一度こうした方法と結果を吟味して今日的課題に対したとき、会への参加意義を再確認していかなくてはならない事態が生じています。時代の流れとして安易な成果追求の風潮が教育現場に押し寄せてきているからです。実際に、全体的な数値比較と習得目標を掲げて「点数がとれること、技術的なことができるようになること」がこれまで以上に性急に求められているのではないのでしょうか。

こうした風潮に抗して、愚直に実践記録を振り返ることが、「子どもと共に伸びる」とか「子どもに学ぶ」といった実感を生み、教師としての誇りと喜びを再発見できる機会になると信じています。参会者が提案者と同じ目線に立ち子ども一人ひとりの「受けとめ方」を探し求め、実践記録をもとに具体的に考え検討していくなかで、教師としてご自身の成長も期待できるでしょう。

さて、今般の「特別の教科道徳」においては、現場は教科的に道徳を受けとめて、定型的に道徳授業を行い、標準化した評価をすることに陥ることはないのでしょうか。子どもたちを統制して、ルールに則った言動をする子を育てるという成果が性急に求められているようにも思えるのです。このような道徳の教科化を前にして、「子ども一人ひとりを受けとめる」ということを重視した自立した教師の人間理解に基づく授業づくりはますます重要になっています。「この子はこういう子かな？」という個の輪郭を描こうとしてみることに始まり、初めの印象に「この子にこういう所があったのか」「この子はそういうふうを考えるのか！」等の新しい発見で子ども理解が更新され、その子が伸びていく可能性や乗り越えるべき課題も見えてくる。ダイナミックに一人ひとりの子どもを「受けとめる」ことを重視する授業づくりは容易なことではありません。しかし、このことにこだわり子ども理解に充実感を覚えて子どもの学習を追い求める教師が、子どもが自らの学びに意欲を持ち、成長を実感できるような育ちを後押ししていくことができるのに違いありません。

以上、ともかく現在に生きる子どもと教師が共に成長できる場（授業）をどうすれば作り出せるのか。実践報告者の提案から、一緒に考えましょう。参加をお待ちしております。

2. 期日 2018年1月6日(土) 7日(日)

3. 会場 京都 聖護院 御殿荘
〒606-8324 京都府京都市左京区聖護院中町15
TEL 075-771-4151

4. 日程

1月6日(土)	
授業者・提案者・司会者打ち合わせ	12:00~12:30
受付	12:30~13:00
全体会	13:00~13:50
・開会挨拶 ・テーマについて	
・授業者, 提案者, 司会者紹介	
分科会1	14:00~17:00
夕食, 懇親会	18:00~20:00

1月7日(日)	
朝食	7:00~7:45
分科会2	9:00~12:00
昼食	12:00~13:00
全体会	
・講演	13:10~14:40
「子どもが育つ授業を追い求める教師たちへ伝えたいこと ～ 大切なことは何か ～」	
講師: 片桐 清司 先生 元和歌山県有効東小学校長	
・意見交流	14:50~15:20
閉会挨拶	15:20~15:30

※関西初志の会運営委員会を7日(日) 15:40~17:00 まで御殿荘にて行います

5. 分科会

	授業提案	司会	提案
A	<p>幼中 環境 「ともだちといっしょにあそぼう」 実践者 前川 沙也香 先生 滋賀 大津市立瀬田幼稚園</p> <p>自分の気持ちを優先してしまうA君が、クラスの中で自己存在感を感じ、友達と共に活動することを楽しむために、教師はどのように共感し、支えていけばよいのでしょうか。個と個、個と集団の関わる場面を通して考えていきたいです。</p>	<p>滋賀 福井 肇先生 (田代恵先生)</p>	<p>南大阪 古 隆子先生</p>
B	<p>小1 国語 「いろいろなふね」 授業者 高橋 美友 先生 滋賀 東近江市立玉緒小学校</p> <p>ゴールを示し学習の見通しを持たせたり、並行読書活動を取り入れる等学習形態を多様にしたりと、日々悩みながら子ども達の書く力を育てる授業作りに取り組んでいます。ひとり一人が主体的で対話的な学びとは？…共に考えたいです。</p>	<p>京都 浅田理恵子先生 (福井肇先生)</p>	<p>京都 吉見博史先生</p>
C	<p>小3 社会科 「 アルプラザのひみつ 」 授業者 檜尾 嘉人 先生 大阪 寝屋川市立木屋小学校</p> <p>社会科にわくわくしている子ども達です。広がっていく子どもの‘思い’や‘不思議’に教師はどうはたらきかければよいのでしょうか。また、お客側だけでなく店側の視点に気付かせるにはどのような手立てがあるのか考えていきたいです。</p>	<p>京都 橋本祥夫先生</p>	<p>和歌山 松尾浩一先生</p>
D	<p>小5 道徳 「 泣いた赤鬼 」 授業者 西岡 和人 先生 大阪 寝屋川市立田井小学校</p> <p>子ども達に到達させたい価値をわからせるためだけに向かわせていないでしょうか。お互いがさまざまに語り合う中で、自然によりよい生き方を感じてほしいと願っています。学習をさらに深めるためには、どうはたらきかければよいのか考えていきたいです。</p>	<p>奈良 所 達樹先生 永利大次先生</p>	<p>兵庫 東田晶明先生</p>

6. 参加費

【大会参加費（会場費）】

会員・誌友	2000円
一般	2000円
学生・院生	1000円

【宿泊費及び懇親会費】

京都「聖護院御殿荘」

宿泊費（1泊2食付） 16,700円（夕食時懇親会費用を含む）

夕食時懇親会のみ 7,000円

二日目昼食費 1,000円

（京弁当 通常1,620円のところ、関西初志の会本部補助により1,000円となっております。）

〔キャンセル料〕

2017年12月24日（日）以前 取消料なし

2017年12月25日（月）～2018年1月3日（水） 取消料20%

2018年1月4日（木）～2018年1月5日（金） 取消料50%

2018年1月6日（土）当日 取消料80%

※宿泊料、懇親会それぞれに発生します。

7. 申し込み ※宿泊者締め切り 2017年11月24日（金）

※ご都合がはっきりしない場合など含め、
期日が過ぎてもご一報いただきたいです。



【ネットで申し込む場合】

申込フォーム <https://form.os7.biz/f/f400ad0c/>

【郵送・FAXで申し込む場合】

事務局 田代 恵

〒611-0002 宇治市木幡御蔵山39-579 TEL・FAX 0774-32-1382

※事務局へ下記①～④をお知らせください。

①氏名 ②所属 ③連絡先（住所・電話番号・E-mail）

④参加内訳（宿泊・懇親会参加・昼食の有無）

⑤希望分科会（A・B・C・D） ⑥これまでの集会参加の有無

8. その他 本集会内容等に関してのお問い合わせ先

2018研究集会実行委員長 橋本祥夫（京都文教大学）

〒612-8279 京都市伏見区納所北城堀41-31

TEL 090-2385-1880 FAX 075-632-0911